

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月7日

上場会社名 TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社  
 コード番号 4687 URL <http://www.tdc.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)谷上 俊二  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)岩田 伸  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3350-8111

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,416	4.3	70	-	48	-	27	-
24年3月期第1四半期	3,274	6.8	102	-	91	-	48	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	4 56	-
24年3月期第1四半期	7 99	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,590	5,846	68.1
24年3月期	8,582	6,029	70.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 5,846百万円 24年3月期 6,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	0 00	-	25 00	25 00
25年3月期	-				
25年3月期(予想)		0 00	-	25 00	25 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,300	1.3	300	33.4	300	26.0	160	32.7	26 74
通期	18,000	7.5	1,000	22.7	1,000	15.4	550	39.9	91 93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	6,278,400株	24年3月期	6,278,400株
25年3月期1Q	295,849株	24年3月期	295,800株
25年3月期1Q	5,982,561株	24年3月期1Q	6,037,705株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期財務諸表等 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
4. 補足情報 .....	8
生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要などを背景として国内需要が堅調に推移するも、緩やかに回復しつつあります。しかしながら、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高い中で、世界景気に減速感が広がっており、金融資本市場を通じた影響も含め、わが国経済を下押しするリスクが存在し、先行きについては不透明な状況が続いております。

当社が所属する情報サービス産業におきましても、国内景気の先行きに対する不透明感により、企業のIT投資に対する慎重な姿勢は変わらず、情報サービス産業にとって厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中で、当社は、平成22年4月から平成25年3月における中期経営計画『For the NEXT STAGE』のもと、価値あるサービスを提供し、お客様の繁栄への寄与に努めております。また、お客様のIT投資動向に機敏に対応し、受注の確保・拡大、製造工程の価格競争力強化、新たな市場・事業の獲得を重点施策として取り組んでおります。

当第1四半期累計期間の業績は、前年同期に比べ法人分野が増加し、また金融分野及び公共・公益分野がともに堅調に推移したことにより、売上高は3,416百万円(前年同期比4.3%増)となりました。利益面では、プロジェクトマネジメントの強化に努め不採算案件が減少したことにより売上総利益率が改善し、営業損失は70百万円(前年同期は102百万円の損失)、経常損失は48百万円(前年同期は91百万円の損失)、四半期純損失は27百万円(前年同期は48百万円の損失)となりました。

業種分野別の売上高は次のとおりであります。

金融分野は、大型システム開発案件の減少がありましたが、クレジット関連向けのシステム開発案件が堅調に推移したことなどにより、前年同期比1.7%減収の1,853百万円となりました。

法人分野は、電気機器等の製造関連向けや通信関連向けのシステム開発案件が堅調に推移したことなどにより、前年同期比15.1%増収の1,223百万円となりました。

公共・公益分野は、官公庁・自治体関連向けのシステム開発案件が低調に推移しましたが、エネルギー関連向けのシステム開発案件が堅調に推移したことなどにより、前年同期比4.3%増収の340百万円となりました。

## 【業種分野別売上高】

(単位：百万円)

業種分野 / 期	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
金融	1,887	57.6%	1,853	54.2%	1.7%
法人	1,061	32.4%	1,223	35.8%	+15.1%
公共・公益	326	10.0%	340	10.0%	+4.3%
合計	3,274	100.0%	3,416	100.0%	+4.3%

## (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末より7百万円増加し、8,590百万円となりました。

流動資産は、売掛金の減少などがありましたが、現金及び預金、たな卸資産などの増加があり、前事業年度末と比べ5百万円増加し7,119百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の減少がありましたが、無形固定資産が増加したことなどにより、前事業年度末と比べ2百万円増加し、1,470百万円となりました。

流動負債は、未払費用の減少などがありましたが、短期借入金の増加などがあり、前事業年度末と比べ190百万円増加し、2,689百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の減少があり、前事業年度末と比べ182百万円減少し、5,846百万円となりました。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、平成24年5月8日に公表した第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて法人税等を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,848,621	3,452,108
売掛金	3,208,334	2,060,534
たな卸資産	502,909	1,028,125
繰延税金資産	423,168	423,168
その他	131,453	156,062
貸倒引当金	122	42
流動資産合計	7,114,365	7,119,958
固定資産		
有形固定資産	58,835	56,220
無形固定資産	75,796	87,683
投資その他の資産		
投資有価証券	615,287	606,821
関係会社株式	37,280	37,280
関係会社出資金	77,000	77,000
繰延税金資産	28,181	31,001
差入保証金	563,514	562,870
その他	12,843	11,837
貸倒引当金	142	42
投資その他の資産合計	1,333,964	1,326,768
固定資産合計	1,468,596	1,470,672
資産合計	8,582,962	8,590,630
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	558,615	547,773
短期借入金	424,000	900,000
未払金	152,468	127,167
未払費用	1,119,203	738,041
未払法人税等	80,764	9,500
役員賞与引当金	32,200	13,750
受注損失引当金	-	8,678
その他	132,332	344,810
流動負債合計	2,499,584	2,689,720
固定負債		
長期末払金	30,100	30,100
資産除去債務	24,118	24,178
固定負債合計	54,218	54,278
負債合計	2,553,803	2,743,999
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	970,400	970,400
資本剰余金	831,738	831,738
利益剰余金	4,490,822	4,313,976
自己株式	248,362	248,397
株主資本合計	6,044,598	5,867,717
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,439	21,086
評価・換算差額等合計	15,439	21,086
純資産合計	6,029,159	5,846,631
負債純資産合計	8,582,962	8,590,630

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,274,925	3,416,790
売上原価	2,912,113	2,955,892
売上総利益	362,812	460,897
販売費及び一般管理費	465,613	530,990
営業損失( )	102,801	70,093
営業外収益		
受取利息	808	299
受取配当金	10,888	9,316
助成金収入	-	13,588
その他	1,848	927
営業外収益合計	13,545	24,131
営業外費用		
支払利息	1,974	1,398
その他	84	753
営業外費用合計	2,059	2,152
経常損失( )	91,316	48,113
税引前四半期純損失( )	91,316	48,113
法人税等	43,101	20,833
四半期純損失( )	48,214	27,280



( 3 ) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

( 4 ) セグメント情報等

当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

当社は、「システム開発」のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、開発から運用・管理までの一貫したシステム開発サービス及びシステム製品の販売等を一体とするシステム開発事業を営んでおり、当社におけるセグメントは、「システム開発」のみの単一セグメントであります。

なお、当社においては、開発システム等の納期が、得意先の期末（多くは3月）に集中する傾向が顕著であります。このため、売上高等は第4四半期会計期間に偏重する傾向があります。

## 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発	2,955,892	+1.5
合計	2,955,892	+1.5

- (注) 1 金額は、製造原価によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発	2,782,193	10.0	4,483,142	16.1
合計	2,782,193	10.0	4,483,142	16.1

- (注) 1 金額は、販売価格で記載しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発	3,416,790	+4.3
合計	3,416,790	+4.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。